

令和8年度 全国学力・学習状況調査の結果

羽島市立堀津小学校

◆全国学力・学習状況調査とは

文部科学省が毎年4月に、全国の6年生と中学3年生を対象に実施している学力調査のことです。国語と算数における学習状況を把握し、授業改善に生かすことを目的としています。

このたび、今年度の調査結果がまとまりましたので、堀津小学校の傾向についてお知らせします。今回の学力調査から、本校の6年生児童は、日々の学習においてICT機器を活用してきたことで、情報収集やスライド作成などの技能に長けているといった成果がありました。一方、自分の考えを伝え合い、交流し合いながら考えを深めたり、新たな考えに気付いたりする学び方については課題となりましたので、改善点等も含めてお知らせいたします。また、生活習慣や学習環境に関する意識調査の結果もまとめましたので、家庭学習や日常生活にお役立てください。

◆学力に関する調査の結果から

Ⅰ 国語

【身に付いている内容】

- ・文章全体を読み、文章の大まかな内容構成を理解することができています。
- ・文章を読んで考えたことを、自分の経験と結びつけて書くことができています。

【課題のある内容】

- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことに課題が見られます。
- ・思い込みで解答をするなど、問題を最後まで読んだり、問題の意図を正しく読み取ったりすることに課題が見られます。
- ・文章を引用するなど、条件に合わせて自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題が見られます。

→自分の考えを伝える際に、自分の考えとその根拠となる引用部分や資料などの関係を明確にし、区別して表現することを意識的に取り組む指導をしていきます。国語だけでなく算数や理科、社会などの学習でも、自分の考えづくりやまとめの時間において繰り返し取り組んでいきます。さらに、仲間の発言を最後まで聞き、相手の思いや意図を考え聞くことを通して、つなげて発言をしたり、明確な意図をもって反応したりすることも指導していきます。

→朝の「かがやきタイム」を活用し、最後まで問題文を読むことで問題を理解し、問いに合った解答をするよう指導します。また、提示されたテーマに合わせて短い文章を書くことにも取り組み、自分の思いや考えを書く習慣を身に付けていきます。

→引き続き「漢字かがやき名人テスト」を行い、漢字を正しく活用する指導をしていきます。

2 算数

【身に付いている内容】

- ・「数と計算」「図形」「測定」「データの活用」の領域において、県・全国平均よりも正答率が高く、全体的によくできています。
- ・数や言葉を使って説明する問題にも進んで取り組んでいます。特に、異分母の分数の大小を理解し、その理由を数や言葉を使って説明することがよくできています。

【課題のある内容】

- ・単位量当たりの大きさを求める計算式の意味を理解して混み具合を求めたり、割合と比較量から基準量を求めたりすることに課題が見られます。
- ・二次元の表からそれぞれの数の意味を理解し、条件に合う数を読み取ることに課題が見られます。

→算数の授業において、問題を読む力を付けていきます。まず、問題文から「分かっていること」「問われていること」を明確にし、解答する過程でテープ図、数直線図、線分図などの図を適切に使うことで、数量関係を視覚的に理解できるようにします。立式をする際には、言葉の式に表し、なぜそのような式になるのか、式が表す数量は何かを確かめながら学習をしていきます。

→新しい学習に必要な基礎的な知識や技能を復習する時間を設けたうえで、次の学習に取り組むようにします。特に、「変化と関係」に係る学習での復習を重要視していきます。

◆生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査の結果から

【当てはまる・どちらかといえば当てはまるの割合が、全国や岐阜県を上回ったり、成果が見られたりする設問】

○自分にかかわること

- 朝食を毎日食べている。
- 休み時間に本を読んだり借りたりするために、学校図書館や電子図書館に週に1回以上行っている。
- 学校での悩みについて、親や家族は、あなたと週2回以上あるいはほぼ毎日話している。

○学校生活にかかわること

- はじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。
- 人が困っているときは、進んで助けている。
- 人の役に立つ人間になりたいと思う。地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。
- タブレットを使って情報を収集したり、プレゼンテーションを作成したりすることができる。

【当てはまる・どちらかといえば当てはまるの割合が、全国や岐阜県を下回ったり、課題だと考えられたりする設問】

○自分にかかわること

- ・自分にはよいところがある。
- ・授業での課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。
- ・平日の1日当たりの家庭学習の時間が1時間未満である児童が多い。
- ・平日に1日当たり3時間以上スマートフォンやタブレット等で、SNSや動画視聴をしている。

○学校生活にかかわること

- ・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。
- ・人と違う意見を言っても否定されないと思う。
- ・分からないことや詳しく知りたいことがあったとき、自分の学び方を考え工夫することができる。
- ・話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている。
- ・授業や学校生活では、仲間や周りの人の考えを大切にして、互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。

【今後に向けて】

保護者の皆様の支えがあり、家庭でも学校での悩みをよく聞いてもらい、規則正しく健康的な生活をしている児童が多く見られます。

学校生活では、読書好きでよく図書館に通ったり、タブレットを学習や委員会活動などに積極的に生かしながら活用したりとICT活用に自信をもっている児童が多くいます。また、いじめを許さず、助け合いながら生活したいという優しい気持ちをもっている児童が多く見られます。その反面、自分に自信がなく、友人関係は固定的で、様々な考えの仲間と切磋琢磨して成長し合うという点においては課題が見られます。

今後は、児童の自己肯定感を高めるために、児童の努力の結果だけでなく、その過程や成長を大切に、担任だけでなく、全校職員で児童のよさを認め、励ましていきます。また、帰りの会での児童同士でのよさ見つけ交流を継続するとともに、授業や特別活動などで評価する観点を広げ、多面的に物事を見るようなよさ見つけの交流に取り組んでいきます。

志授業やふるさと学習では、児童が様々な人と関わりながら、地域のよさ、自分のよさや頑張りに気付き、堀津町を大切に思う気持ちを育んだり、自分自身に自信をもち、仲間や地域の方と率先して関わったりすることができるようにしていきます。

児童はタブレットで学習することのよさを実感していますが、依存傾向が心配される子もいます。学校でも、タブレットを安全に利用するためにメディアコントロールの指導を繰り返しますので、家庭でも約束づくりをし、大人自身も子どもの手本となる活用の仕方を示しながら、見届けをお願いします。

家庭学習においては、マイプラン学習を継続し、計画的に学習したり、必要な学習を選択したりする力を高めていきます。引き続き、ご家庭でも基本的な生活習慣を大切にしながら、お子さんの取り組みを認め、励ましていただきますようお願いいたします。